

授業科目	精神看護学	講師名	看護専任教員 他	
開講時期	1 年次後期～3 年次後期	単位数	6 単位	1 9 5 時間

【目 的】

看護の対象である人間のこころの働きとその成長、及びこころの健康問題について理解する。また、対象との対人関係をもとに、こころの健康の保持・増進及び回復をめざす看護を実践するために必要な基礎的能力を養う。

【構 成】

精神看護学	6 単位	1 9 5 時間
精神看護学概論	1 単位	3 0 時間
精神の疾病・障害	1 単位	1 5 時間
精神看護学方法論Ⅰ	1 単位	3 0 時間
精神看護学方法論Ⅱ	1 単位	3 0 時間
精神看護学実習	2 単位	9 0 時間

授業科目	精神看護学概論	講師名	吉野美紀子	所属	看護専門学校
開講時期	1 年次後期	単位数	1 単位	時間数	3 0 時間
必修科目					
【学習目的】 精神看護学の概要を学ぶ。精神看護の基本的な概念・理論、歴史的変遷・法律・施策を学び、こころの健康および精神の疾病・障害がある人への総合的な理解を深める。 【学習目標】 1. 精神看護学の概要が理解できる 2. 精神看護の目的が理解できる 3. こころの健康の維持・増進、回復への看護が理解できる 4. 精神保健・医療・福祉・看護の歴史と現状・課題が理解できる（処遇・人権問題を含む） 5. 精神看護の対象が理解できる 6. 精神看護の特徴が理解できる 7. 患者－看護師（看護学生）関係の形成・発展の重要性が理解できる 8. 自己洞察の重要性が理解できる 【学習内容】 1. 精神看護の考え方 2. 精神保健・医療・福祉・看護の歴史と法制度（処遇・人権問題を含む） 3. こころの健康 1) こころの健康とは 2) 1 次予防・2 次予防・3 次予防 3) ライフステージのこころの健康と危機 4) 災害とこころの健康と危機 5) 精神保健医療福祉活動、精神科医療チームと看護 4. 看護の対象の理解 1) ストレス－脆弱性－対処モデル 2) 生物－心理－社会モデル 3) 生物学的（医学）モデル 4) 成長発達モデル 5) 危機モデル 6) 社会学モデル 7) 精神力動 8) 集団力動 9) 家族支援 5. 精神看護の特徴、患者－看護師関係の発展 1) 患者－看護師関係 2) セルフケア理論 3) 生きる力と強さに着目した援助 6. 精神の疾病・障害がある人（当事者）を理解する 【使用テキスト】 吉浜文洋・末安民生編『学生のための精神看護学』医学書院 2010.6 田中美恵子編著『精神看護学－学生－患者のストーリーで綴る実習展開』医歯薬出版株式会社 『国民衛生の動向』 他 【評価方法】 終講試験（筆記試験）、提出物、前・中間・終講レポート、出席・授業態度					
備考					

授業科目	精神の疾病・障害	講師名	医師		所属	杏林大学病院
開講時期	2 年次前期	単位数	1 単位	時間数	1 5 時間	必修科目
【学習目的】 精神の疾病・障害に関する基礎的な知識を学びましょう。 具体的には、それぞれの疾病・障害の概念を理解し、その特徴、診断基準、治療方法などについて の正確な知識を習得しましょう。 精神に対する苦手意識や偏見を減らし、ノーマライゼーションの考え方を理解しましょう。 【学習内容】 1. 総論・精神医療の歴史 2. 治療学 3. 症状性を含む器質性精神病 4. 精神作用物質使用による精神・行動の障害 5. 統合失調症、統合失調症型障害、妄想性障害 6. 気分（感情）障害 7. 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害 8. 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 9. 成人の人格・行動の障害 10. 精神遅滞 11. 心理的発達の障害 12. 小児期及び青年期に通常発症する行動および情緒の障害 【使用テキスト】 配布するプリント、資料 【評価方法】 終講試験（筆記試験） 【コメント】 わからないことは、どんどん質問してください。						
備考						

授業科目	精神看護学 方法論Ⅰ	講師名	病院看護師 訪問看護師 看護専任教員		所属	長谷川病院 たんぽぽ訪問看護ST 杏林大学病院 看護専門学校
開講時期	2年次前期	単位数	1単位	時間数	30時間	必修科目

【学習目的】
 こころの健康を維持増進し回復するときに、どのようなかわりが必要なのかについての基礎的な看護技術を学ぶ。また、地域で暮らす精神障害者への看護、およびリエゾン精神看護を学ぶ

【学習内容】

- 精神看護の基礎的な技術と方法（働きかけの技法）
 - 観察とアセスメント
 - 治療的環境づくり
 - コミュニケーション技法
 - 身体療法と看護
 - 精神療法・作業療法と看護
 - 外来・ディケアの看護
 - 身体合併症の看護
 - 家族支援
- リエゾン精神看護
- 精神科訪問看護
 - 地域で暮らす精神障害者の特徴
 - 精神保健医療福祉の社会資源の活用と調整
 - 地域精神保健活動の看護の役割
 - 地域精神保健看護活動の実際
- 課題学習

【使用テキスト】
 吉浜文洋・末安民生編『学生のための精神看護学』医学書院 2010.6
 田中美恵子編著『精神看護学－学生－患者のストーリーで綴る実習展開』医歯薬出版株式会社
 『国民衛生の動向』 他
 配布するプリント、資料

【評価方法】
 終講試験（筆記試験）、提出物、終講レポート、出席・授業態度

備考

授業科目	精神看護学方法論Ⅱ	講師名	病院看護師 看護専任教員		所属	長谷川病院 杏林大学病院 看護専門学校
開講時期	2 年次後期	単位数	1 単位	時間数	3 0 時間	必修科目
【学習目的】 精神の疾病・障害がある人の諸問題を看護の視点からアプローチし、回復・自立に向けての看護や他職種との連携を理解する。また、精神の疾病・障害がある人の事例の看護過程の展開が理解できる。 【学習目標】 1. 精神の疾病・障害がある人の生活行動上の問題や疾病・症状に対する看護が理解できる 2. 精神の疾病・障害がある人の治療過程に応じた看護が理解できる 3. 精神の疾病・障害がある人の事例の看護過程の展開が理解できる 【学習内容】 1. 統合失調症、統合失調症型障害、妄想性障害の患者の看護 2. 精神作用物質使用による精神・行動の障害の患者の看護 3. 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群の患者の看護 4. 成人の人格・行動の障害の患者の看護 5. 気分（感情）障害の患者の看護 6. 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害の患者の看護 7. 症状性を含む器質性精神病患者の看護 8. 精神遅滞、心理的発達障害、小児期及び青年期に通常発症する行動および情緒の障害の患者の看護 9. 事例の看護過程の展開およびプロセスレコード 【使用テキスト】 吉浜文洋・末安民生編『学生のための精神看護学』医学書院 2010.6 田中美恵子編著『精神看護学－学生－患者のストーリーで綴る実習展開』医歯薬出版株式会社 【評価方法】 終講試験（筆記試験）、終講レポート（看護過程）・出席・授業態度						
備考						

